

放送番組審議会 議事録

【平成25年度 第2回 放送番組審議会】

日時	平成26年3月12日(水) 午後3時30分
場所	大町市総合情報センター テレビ会議室
出席者 審議会委員	伊藤 彰一、勝野賢一、川上洋、北澤愛子、大日方三郎
事務局	西澤潤一郎、井沢公一、小林悠、大日方寿二
欠席委員	傘木覚、田中けさ子、平林操、前川浩一

(1) 報告事項

(委員からの意見)

- 収録した映像を、期間をおかずタイムリーに放送してほしい。自衛隊コンサートは有料のためなのか。
- RMP導入は世の中の必須条件か。RMP導入しないと他局と番組交換ができないとのことだが、なぜ10月導入なのか。もっと早く導入できないか。
- 有料のダビング料金はいくらくらいか。
- 「ぐるっとふるさと信越」参加のメリットは何か。また、来年度は、お盆のころだが何を放送するのか。
- ロートル組向けの番組制作を進めていくことが必要と考えるがどうか。

(事務局から)

- 自衛隊コンサートは催し物が少なくなる時期まで番組をとっておきたかった。また、会場に実際に出向いた人(有料)とテレビで見る人と少し期間があった方がいいと感じた。少なくとも1ヶ月は開けたいと考えた。
- RMP導入はケーブルテレビ局では必須になってきている。RMP導入で商業用レコードの2次使用で使える曲が増える。全国のケーブルテレビ連盟では番組配信を受ける形ができています。他局の番組を流す条件の中にはRMP導入がある。来年度予算は3月議会で通らないとできない。受注生産のため3か月半かかる。RMP基データは4半期ごとに受付、納品となるため10月位になる。10月からは自主制作番組の権利保護にも使用していく
- ダビング料金は30分毎に1,000円。特番で2,500円。著作権処理をする場合、JASRACに申請しなければならず、著作権使用料を上乗せした金額をいただくことになる。事務の煩雑さを考えると現在ダビングはできない状況にある。
- NHKの「イブニング信州ぐるっとふるさと信越」で放送されるのが大きなメリットである。「ぐるっとふるさと信越」は29局のネットワークで作成しており、年50週のうち1周が大町市の番組である。今回は、国営公園のイルミネーションであった。来年は、観光宣伝を含め時期的に三蔵呑み歩きがよいと考えている。地域にスポットをあてることも含め今後検討

していく。

- テレビを見る年齢層は高いと想定しているが、人気の高いマレットゴルフを取材して流せな
いか話したこともある。今は、子供がいる若い層をターゲットにした番組が多い状況である。

(2) 平成26年度 番組編成について

(委員からの意見)

- 地域密着型の情報として、文化財情報、文化活動を紹介してほしい。踊りや日本舞踊、絵画、
木彫など静物もいれてほしい。
- 5月最終の祭日に50組200人を超える人が参加し市民ゴルフを開催している。ゴルフ人口
増やすことも大事なこと。成績・打つところなど収録してほしい。また、爺が岳のモトクロ
スは年2回開催している。大勢の人がくるイベントの周知など応援を検討してほしい。

(事務局から)

- 文化財関係は以前「探訪大町」として放送していた。監修を依頼する文化財センターの業務
が煩雑で現在手が回らない状況にある。復活に向けお願いはしている。以前と違った形にな
るかも知れないが文化財番組考えている。文化系はサークル仲間で団体を紹介している。ま
た、イベント関係はなるべく撮るようになっている。サークルは枠が決まっているが検討した
い。
- 情報は、市だけではなく多方面から収集するよう努めている。取材依頼に応えられないこと
も多々ある。モトクロスの件、過去にきらりステーションで紹介したことがある。

(3) 放送番組の視聴と感想 (きらり大町病院)

(委員から)

- 主張するところは主張していて非常にうまくまとまっている。素人っぽさがかえっていい。
- 前よりも明るくなって見やすい。他の番組だが、カメラアングルが変わったとの意見があっ
た。職員の異動によるものなのか。見る時によって、上手・下手があるとの意見もある。加
入者増やすために、幼稚園・学校に行く子供を持つ家庭には利用料を安くするなどの手法も
あるとの意見も出た。
- とても見やすくあっという間に終わった。ドラマ仕立てもわかりやすくよかった。画面の文
字も見やすい。ただ、小さい画面で見ると一部小さいと思う場面があった。手作り感がとて
もよかった。
- 前回、前半が重いと意見した覚えがあるが、今回非常にテンポよく作られていて20分とい
う時間枠は変わっていないのに早く時間が過ぎたと感じた。タスキで役職を表示したり、手
書き表示したりと各所で工夫が見られた。実際に体験しなくてもテレビの中で体験できるの
はいい試みだと思う。大町病院を守る会の活動を促すかたちになる。引き続きこのような形
で作っていただければいいと思う。
- 看護師・先生が工夫していて難しい言葉がなくわかりやすかった。いまの作り方で進めても
らいたい。

○看護師が普段の明るさが出ていて見ている患者が喜んで見ると感じた。

(事務局から)

○職員の異動が1人あった。現在、3人で番組制作している。音楽会・運動会は委託しているが業者の色が出る。職員もそれぞれ色が違い、上手・下手がある。保育園・幼稚園の年長さんの番組「大きくなったら」、運動会・音楽会など、各園に放送案内をしているが加入に結びついていない状況。工事負担金はどうしてもかかる。現在、定住促進で家を新築または購入した場合、上限4万円で工事負担金を補助している。現在、新たに他の補助ということは難しい状況にある。

○先生は学会で発表するような難しい言葉になる。それがないため、分かりやすくなった。実際には病院の広報委員会で企画しケーブルテレビは取材し編集をしている。一部テロップ、病院で作っている。字が小さい見づらい箇所あったと思う。そのような箇所は病院に伝えて改善していきたい。

(4) その他

(委員から)

○番組案内、リモコンで見ると空欄があるので説明を入れてほしい。

(事務局から)

○メーカーによって表示方法が異なる。ケーブルテレビで使用している番組表には字数制限があるため、EPG上細かい内容が入力できないものがある。